

2021年 伊賀市の未来を創造する図書館ワークショップ

第2回 結果概要

伊賀市では現在、公民連携手法を用いた施設整備を進めるべく、旧上野市庁舎を改修し、伊賀市上野図書館の移転整備を計画しています。

そこで、新しい図書館が、「学び、創造、憩いの広場」となる交流型図書館を目指し、機能や空間等、図書館のあり方を、市民の皆さんと一緒に考え、創るため、ワークショップを開催しています。

■第2回ワークショップの概要

開催日時：2021年4月24日（土） 14:00～16:00

開催場所：ハイトピア伊賀 5階大研修室

開催内容：テーマ

【まちづくりに活かせる図書館を考えてみよう！】

1. WSルール説明、事例紹介
2. グループディスカッション

以下の内容について議論しました。

- ・図書館が提供できるサービスはどんなものがあるか？
- ・図書館の建物（器）としての役割、機能はどんなものがあるか？
- ・それらの役割、機能、サービスに「伊賀」らしさを加えるのなら？



■参加者数

45人（5グループ×6人+3グループ×5人）

■ワークショップの結果の概要

一般的な図書館が提供するサービスだけでなく、人々の交流が発生する場所として求められるサービスや役割、機能について考えました。

図書館が人の「幸せ」の中心であり、図書館自体をシビックプライドをつくるものとしてとらえ、多様性と“伊賀”い性のある図書館を目指していくことが重要であるとの気づきを得た参加者が多くみられました。

総評

伊賀市出身の著名人 ⇒ 伊賀生まれとしてのプライドを作り
図書館が人の「幸せ」の中心に
図書館自体をシビックプライドを作るものにする
ポイントカード／公共交通と図書館の連携
寛くことができる空間
どんでん返しの扉を！ “伊賀”い性のある図書館に
安心安全な施設 空き時間にフラッと立ち寄れる場所
伝統的なもてなしが受けられる空間
国際的な交流ができる空間
「儲ける！」ことを念頭に
忍者研究・忍び学の聖地に、芭蕉に関わるものが揃う場所
情報を発信する場所、何らかの活動を提供する「場」
環境に配慮した建物

交流が発生する場所づくり

